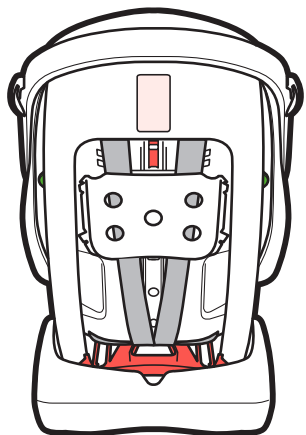




レジェプラスネクストキャノピー Leger Plus Next Canopy



販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造・輸入元 株式会社 **シーエー産商**
お客様相談窓口

0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00 (月曜日~金曜日 ※弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

RM2201-2024-05



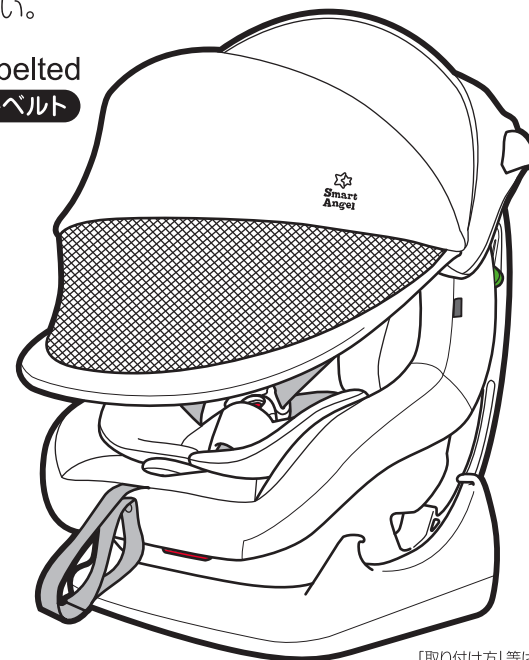
レジェプラスネクストキャノピー Leger Plus Next Canopy

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けてご使用ください。

Universal belted

3点式シートベルト



「取り付け方」等は
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長40~105cmまでのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

目次

●ご使用になる前に	2
本装置について	2
ご利用にあたって	2
安全にご使用いただくために	3
ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方	7
取り付けできる3点式シートベルト	9
取り付けできない座席	10
●各部の名称	11
●各部の使い方	13
バックル・タンク	13
リクライニングレバー	14
ヘッドサポート	15
肩ベルト	16
インナークッション／サンシェード	17
●後ろ向きとしての使い方	18
取り付け方	18
●前向きとしての使い方	22
取り付け方	22
●お子様の乗せ方・降ろし方	26
●お手入れのしかた	28
取り外し方	28
取り付け方	30
カバー・パッド・クッション	32
本体・ベルト・バックル等	32
●困ったときは	33
●保証規定／保証書	34

【梱包内容】

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



本書



サンシェード



本装置

〈サイズ〉W450×D505×H620mm

〈重量〉5.9kg(サンシェード除く)

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準 (UN ECE R129/03) ※に適合しており、身長が40～105cmまでのお子様を対象とした、R129改良型年少者用補助乗車装置です。

※安全基準 (UN ECE R129) は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準 UN ECE R129の詳細については、弊社HP (QRコード→) をご覧ください。



- 本装置は、3点式シートベルトが装備されている座席にご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。
- エアバッグが装備されている座席には取り付けできません。(サイドエアバッグを除く)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用いただけません。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

- 本書を読んでいただくためのポイントマークについて
下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用いただく上で、知っていただきたいことを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。



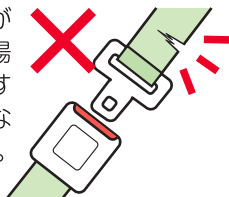
警告

本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

※安全上、前座席にはご使用いただけません。

※お子様の身長が76cmを超えるまで、前向きではご使用いただけません。

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- 車両座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがあります。必ず正しい長さでご使用ください。
- 衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので絶対に使用しないでください。
- お子様を本装置に乗せて使用する際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で装着し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。
- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますが、お子様の力でもタンクが外れる場合があります。バックルにタンクが確実にロックされているか確認していただき、お子様にバックルボタンを押さないよう指導してください。
- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますが、お子様の力でもタンクが外れる場合があります。バックルにタンクが確実にロックされているか確認していただき、お子様にバックルボタンを押さないよう指導してください。

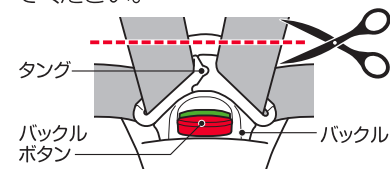
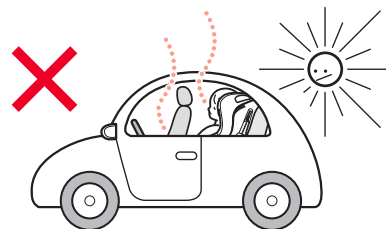
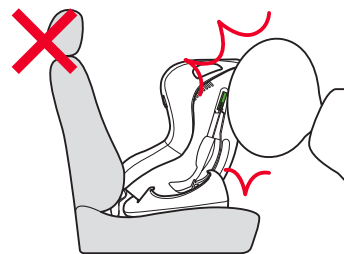


カバー・パッド・クッション



警告

- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト等を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。また、他のものと交換しないでください。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したり、動かさないでください。
- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などが原因で機能を損ねる場合があります。
- 車両の座席シートの材質・形状によって、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間、保護マット等を敷いてご使用ください。
- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください(例:片側スライドドアのドア側座席など)。
- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押ししてもタンクがバックルから解除できない場合は、本装置ベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。
- お子様を乗せたまま、車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。

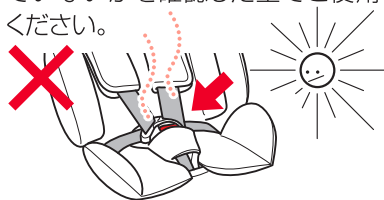
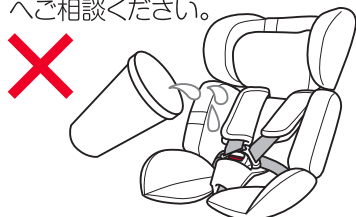


ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

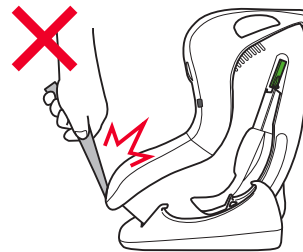
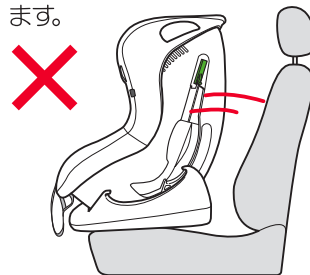
⚠ 注意

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- 本装置を取り付ける際に、手や指を車両の座席やドアに挟まないように注意してください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際には、各部に触れて、熱くなっていないかを確認した上でご使用ください。
- 可動座席または車両のドアに、本装置の剛性部分やプラスチック部分を挟まないでください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだままの状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。また、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、お客様相談窓口へご相談ください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください（本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く）。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。



⚠ 注意

- 本装置をホコリが溜まりやすい場所で放置して使用すると、可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様の寒さ対策は、肩・腰ベルトを装着した上からおこなってください。
- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。
- 肩ベルト調節ストラップを上につまむと、肩ベルト調節金具が破損することがありますので、必ず手前にゆっくり引いてください。



ご使用になる前に

ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

後ろ向き

身長 40~105cm

- 年齢の目安… 新生児~4歳頃
- 体重の目安… 約2.5~18kg以下

車両の進行方向に対し

**必ず
後ろ向き**で
使用します。



月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、
車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。
※身長が76cmを超えても、できる限り「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。

車両の**3点式シートベルト**で取り付け、
本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束します。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用
しないでください。
また、助手席には決して取り付けないでください。

前向き

身長 76~105cm

- 年齢の目安… 15ヵ月~4歳頃
- 体重の目安… 約9~18kg以下

車両の進行方向に対し

前向きで
使用します。



ヘッドクッション・インナークッションを取り外して
使用します。

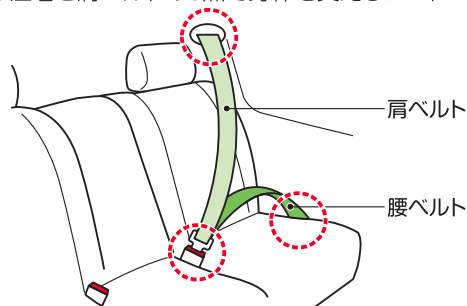
車両の**3点式シートベルト**で取り付け、
本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束します。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用
しないでください。
また、助手席には決して取り付けないでください。

ご使用になる前に 取り付けできる3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



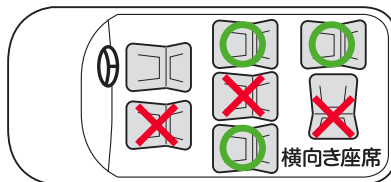
3点式シートベルトの種類

○ ELR緊急ロック式 (巻き取り機能付)	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
○ ALR/ELR (チャイルドシート 固定機能付)	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなり、すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
✗ その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



※必ず弊社『車種別適合表』をご確認ください。○取り付け可能 ✗取り付け不可

取り付けできない座席

- シートベルトが装備されていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。

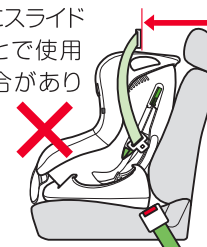
※腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。
2点式シートベルト
奥行 40cm以下
幅 36cm以下



- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- 座面の奥行が40cm以下の座席。
- 座面の幅が36cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。

※サイドエアバッグのみの場合は、ご使用いただけます。

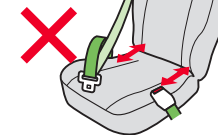
- 肩ベルトの出口が座席より前にある座席 (背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)。



- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている座席。



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも10cm以上前に出ている座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。
- 自動式ショルダーベルト (パッシブシートベルト)*が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。

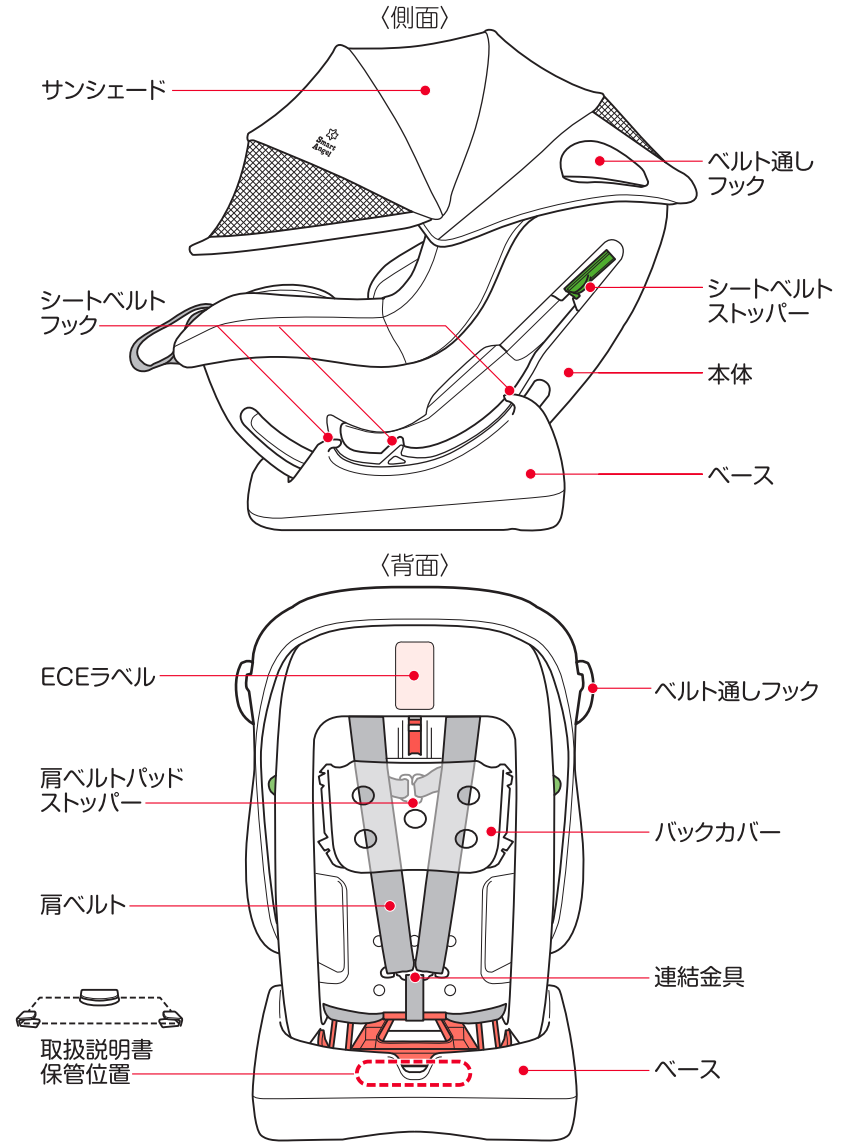
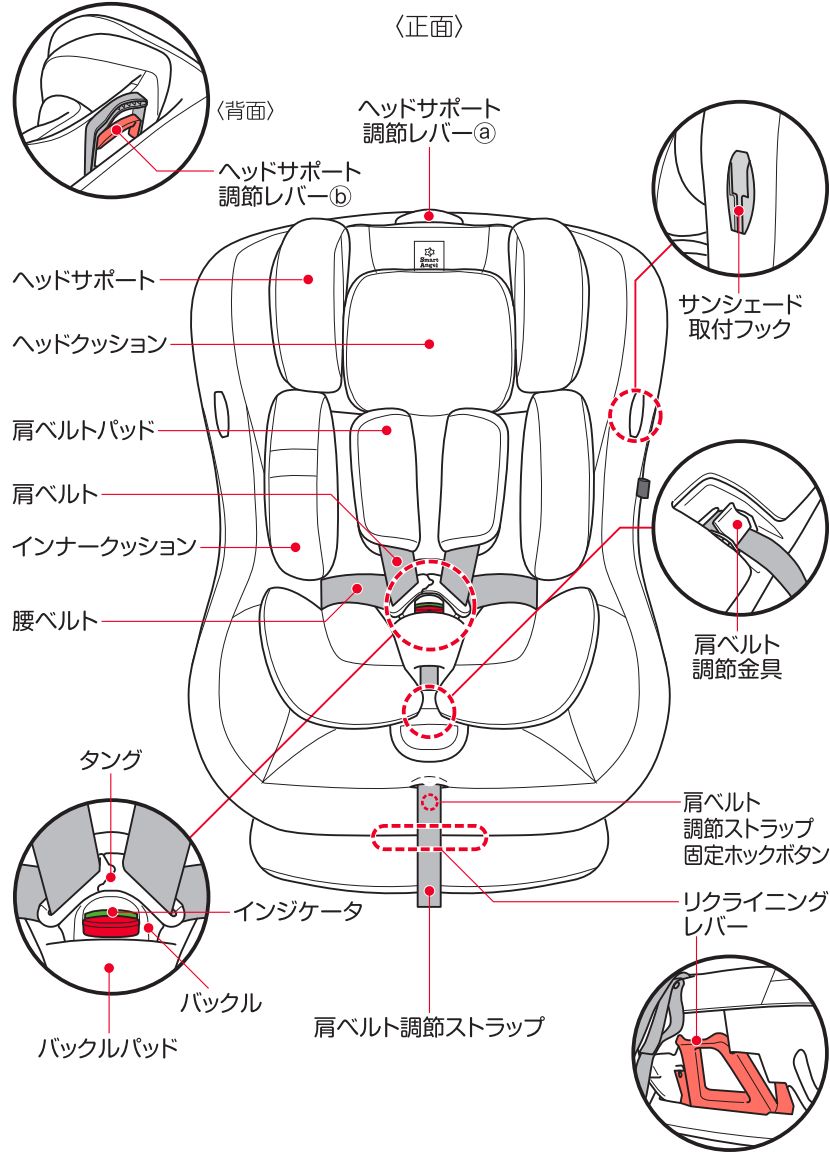


- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。

- 受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある座席。(車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。)



各部の名称

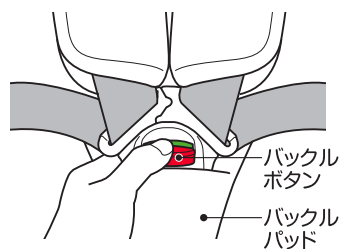


各部の使い方

バックル・タング

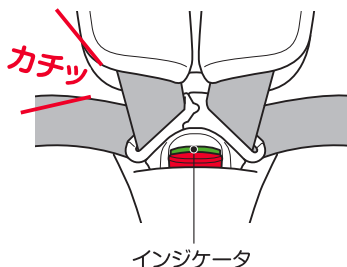
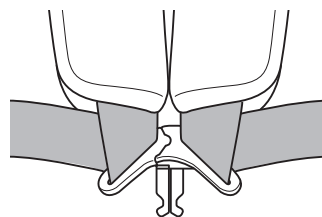
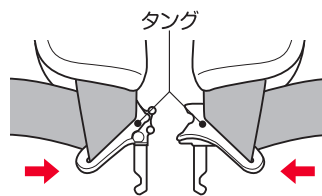
■ロック解除の場合

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を下に押し、タングをバックルから解除します。



■ロックする場合

左右のタングを合わせます。
バックルパッドを引き下げます。
タングをバックルに、「カチッ」と音が出るまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



警告 バックルとタングをセットした際に、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



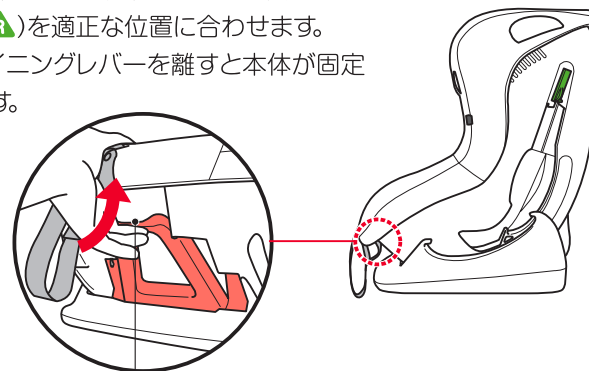
注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。
バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなり故障の原因になります。



補足 バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

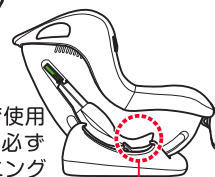
リクライニングレバー

リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(前向き3段階①～③・後ろ向き1段階④)を適正な位置に合わせます。
リクライニングレバーを離すと本体が固定されます。



リクライニングレバー

〈後ろ向き〉

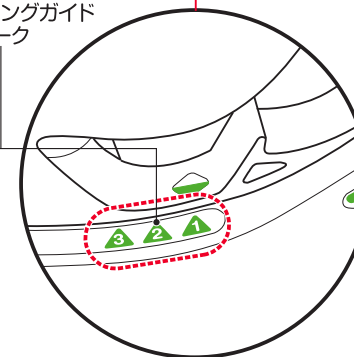
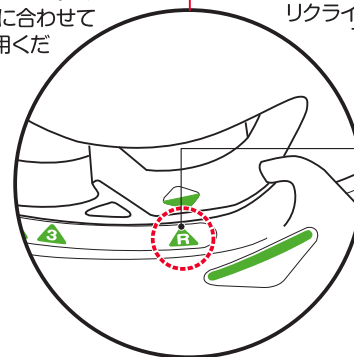


※後ろ向きで使用する際は、必ずリクライニングガイドマークの「④」に合わせてご使用ください。

〈前向き〉



リクライニングガイドマーク



各部の使い方

ヘッドサポート

調節する時は、肩ベルトを緩めてからおこなってください。(P16参照)

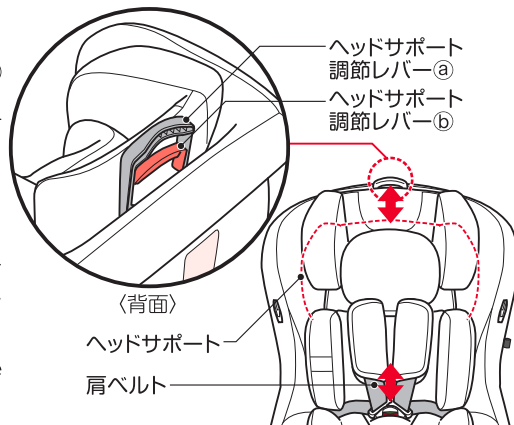
ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

■上げる場合

ヘッドサポート調節レバー①(赤色)に指を入れて引き上げます。

■下げる場合

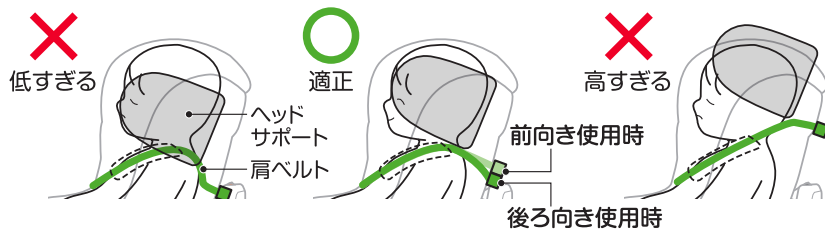
- ①ヘッドサポート調節レバー①(赤色)を引き上げてロックを解除し、
- ②ヘッドサポートを押し下げます。



肩ベルト位置の目安

■後ろ向き使用時

肩ベルトの出口がお子様の肩よりやや低い位置になるように、高さを調節します。



■前向き使用時

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。

注意 肩ベルトにねじれができないように、注意しながら調節をしてください。

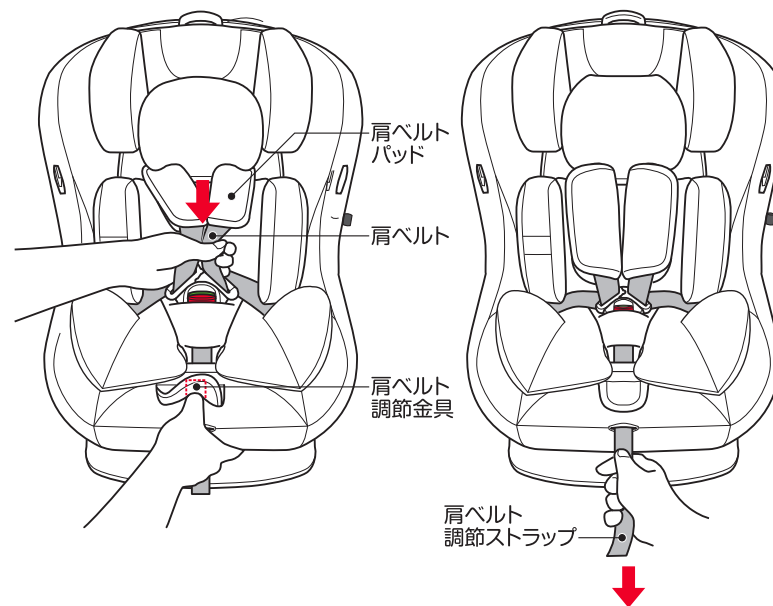
肩ベルト

■肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って、手前に引くと緩みます。
※肩ベルトパッドを引っ張っても、肩ベルトは緩みません。

■肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、ゆっくり手前に引っ張ると締まります。



注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。
肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



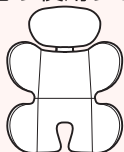


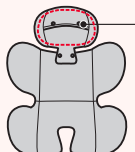

各部の使い方

インナークッション

身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。

インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(15ヵ月頃)で、腰と首がすわっていることです。

身長が60cm以上のお子様は、体格、着衣により窮屈な状態でしたら、インナークッションの下にある三角パッドやヘッドクッションの中にあるウレタンを取り出して調節してください。

身長 40cm～	60cm～	76cm～
必ず使用する		使用しない
	 ウレタン  三角パッド  ホックボタン	

サンシェード

〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

サンシェードの後部を、ベルト通しフックに通します。

サンシェードのジョイントとサンシェード取付フックの溝を合わせ、ジョイントを下に差し込んで取り付けます。



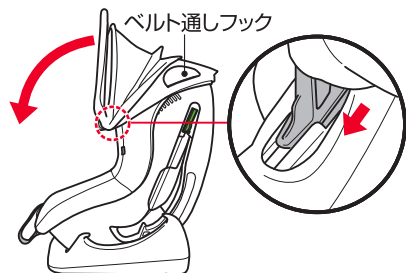
サンシェード取付フック

ジョイント



注意 走行時は、窓を開けないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

サンシェードを開閉させる時に指や手などを挟まないようにご注意ください。サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。



ベルト通しフック

後ろ向きとしての使い方

取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

●取り付け作業前にスペースの確保

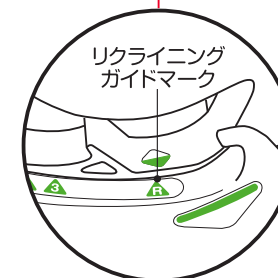
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



1

本装置の肩ベルトを緩め、リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(▲)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと本装置が隙間なく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



リクライニングガイドマーク



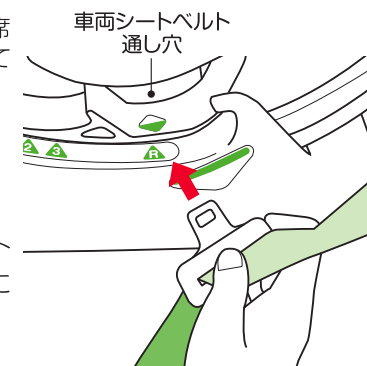
警告

エアバッグが装備されている助手席には、絶対に取り付けしないでください。



注意

本装置と車両の背もたれ・座席との間に、隙間がないようにしてください。



車両シートベルト通し穴

2

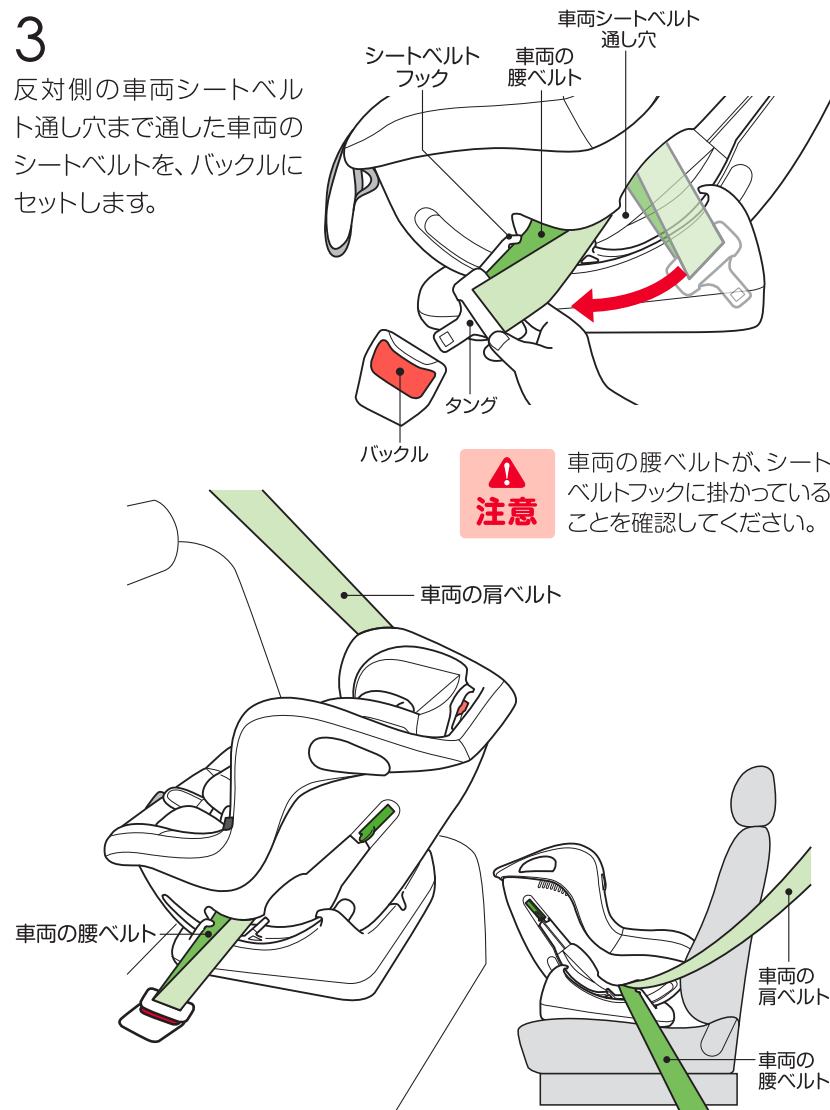
車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。

後ろ向きとしての使い方

取り付け方

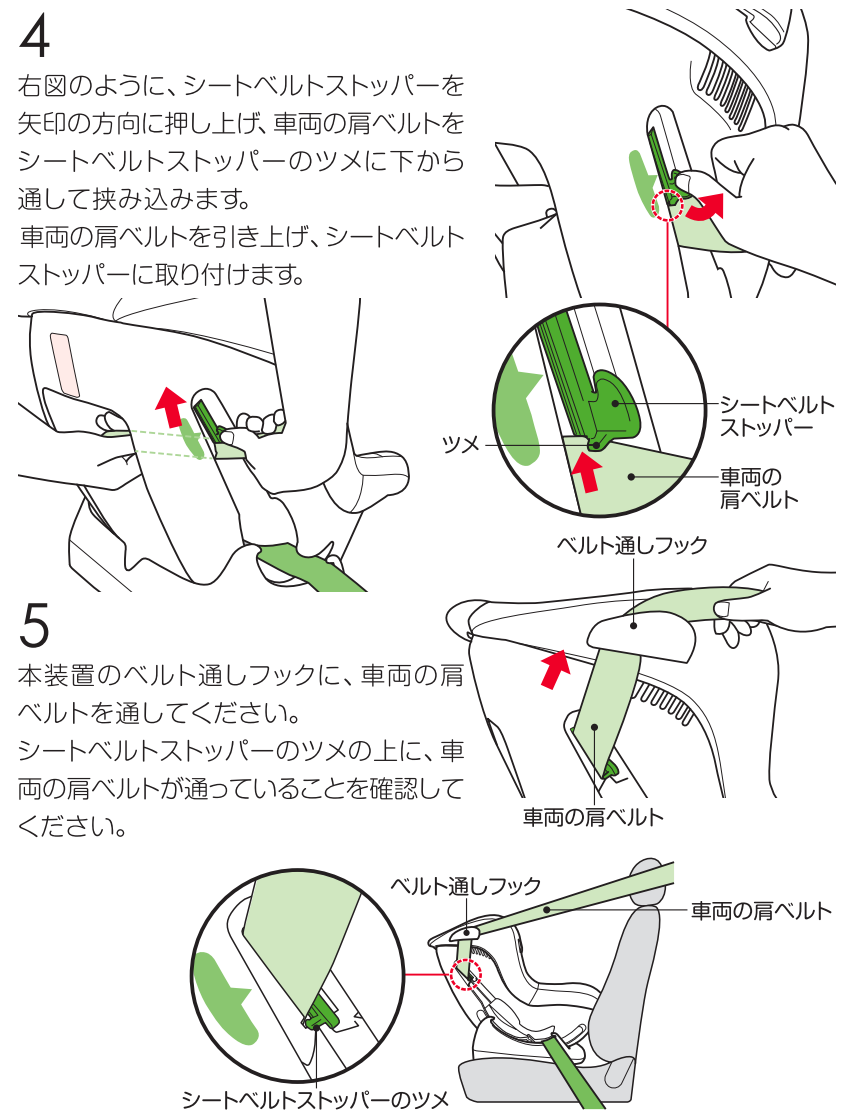
3

反対側の車両シートベルト通し穴まで通した車両のシートベルトを、バックルにセットします。



4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーのツメに下から通して挟み込みます。車両の肩ベルトを引き上げ、シートベルトストッパーに取り付けます。



5

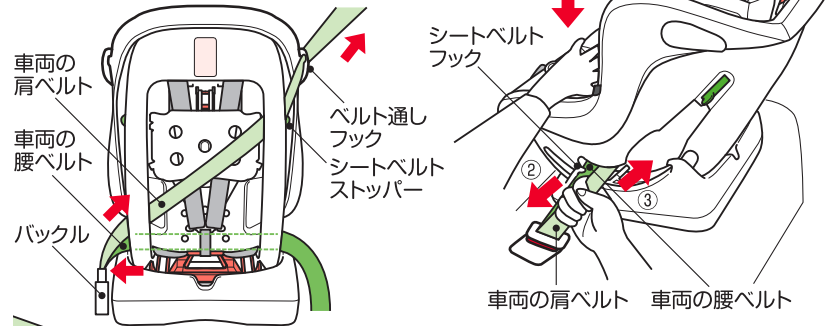
本装置のベルト通しフックに、車両の肩ベルトを通してください。シートベルトストッパーのツメの上に、車両の肩ベルトが通っていることを確認してください。

後ろ向きとしての使い方

取り付け方

6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを矢印の方向へ引っ張り、締め付けます。



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれがないこと。
- 車両の肩ベルトがベルト通しフックとシートベルトストッパーに、車両の腰ベルトがシートベルトフックに確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮されず危険です。



補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

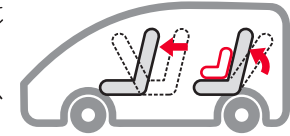
前向きとしての使い方

取り付け方

《後席左側での取り付け例》

●取り付け作業前にスペースの確保

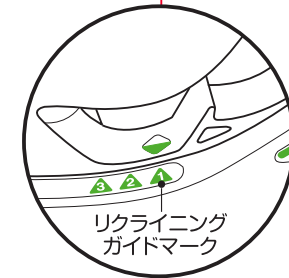
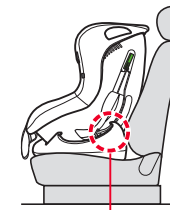
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



1

本装置の肩ベルトを緩め、リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(▲~▲)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと本装置が隙間なく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



警告

エアバッグが装備されている助手席には、絶対に取り付けしないでください。



注意

本装置と車両の背もたれ・座席との間に、隙間がないようにしてください。

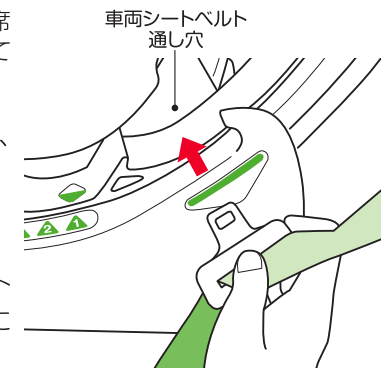


補足

ヘッドレストが干渉する場合は、上げるか取り外してください。

2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。

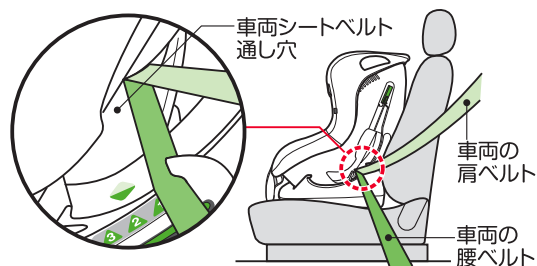


前向きとしての使い方

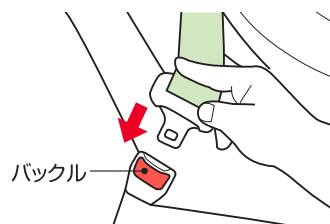
取り付け方

3

反対側の車両シートベルト通し穴まで通した車両のシートベルトを、バックルにセットします。



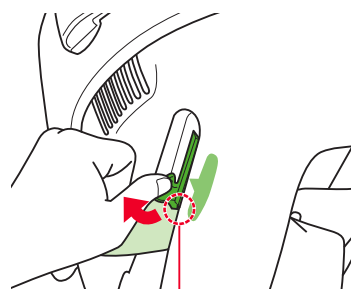
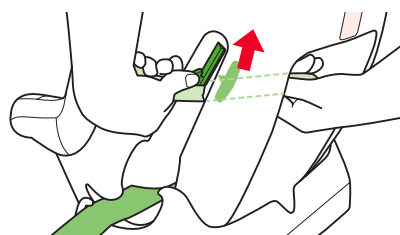
車両シートベルトを引き出し、本装置を横向き、または手前にして作業スペースを確保します。



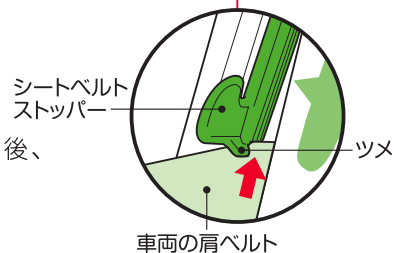
4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーのツメに下から通して挟み込みます。

車両の肩ベルトを引き上げ、シートベルトストッパーに取り付けます。

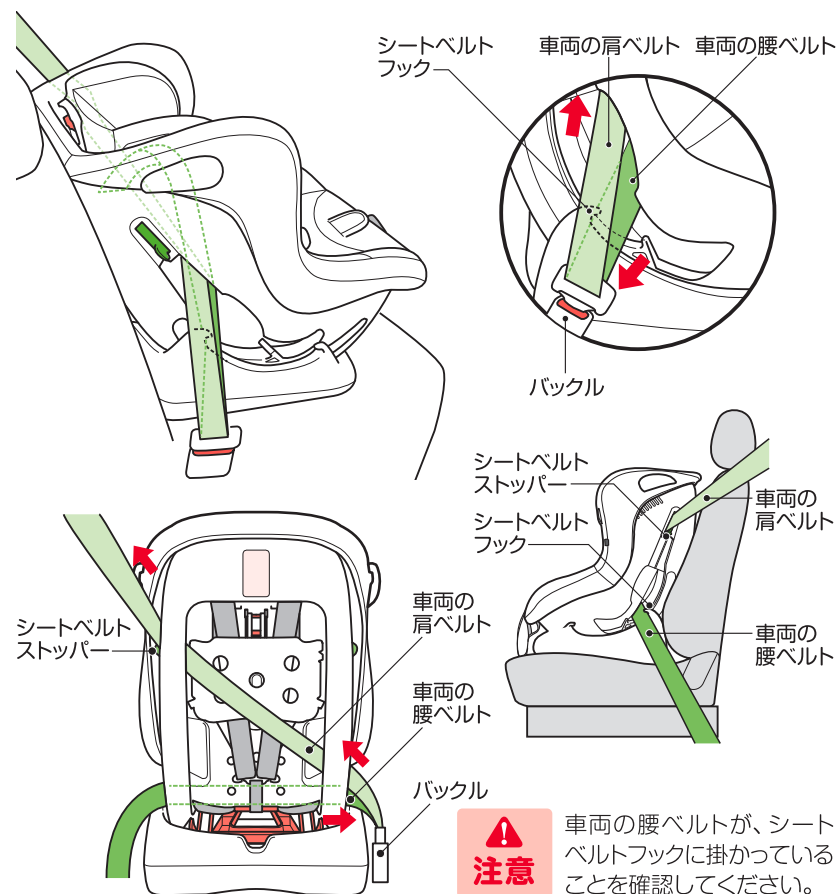


シートベルトストッパーに取り付け後、本装置をもとの位置に戻します。



5

車両の腰ベルトが、左右のシートベルトフックに掛かっていることを確認し、車両の腰ベルト、肩ベルトの順に引っ張り、車両のシートベルトを締め付けます。



注意 車両の腰ベルトが、シートベルトフックに掛かっていることを確認してください。

前向きとしての使い方

取り付け方

6

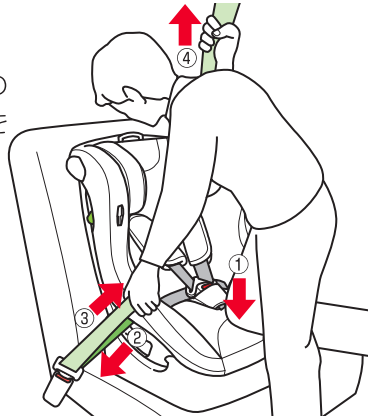
本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを矢印の方向に引っ張り、締め付けます。



〈後席右側の取り付けイメージ〉



〈後席左側の取り付けイメージ〉



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれがないこと。
- 車両の肩ベルトが、ベルト通しフックとシートベルトストッパーに、車両の腰ベルトが、左右のシートベルトフックに確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。



車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

お子様の乗せ方・降ろし方

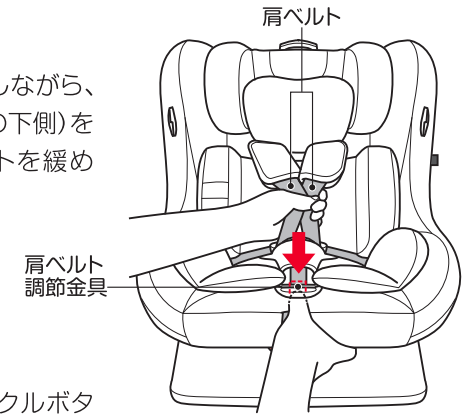
お子様の乗せ方

- 本書P7・P8「ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保して乗せ降ろししてください。

1

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

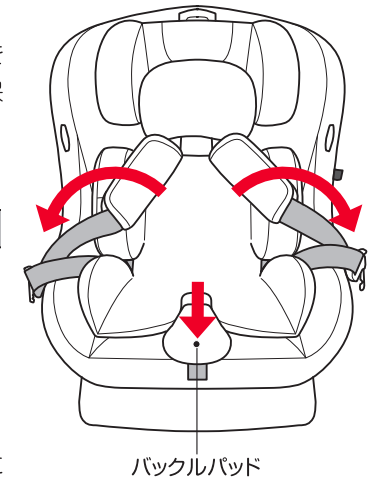
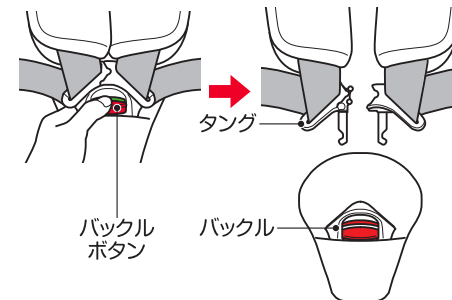
※肩ベルトパッドを引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



2

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。

肩ベルトを左右に開き、バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、ヘッドサポートの高さを調節します。(P15参照)

肩ベルトにねじれがないことを確認してから左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。インジケータが緑色になったことを確認してください。



警告 バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

4

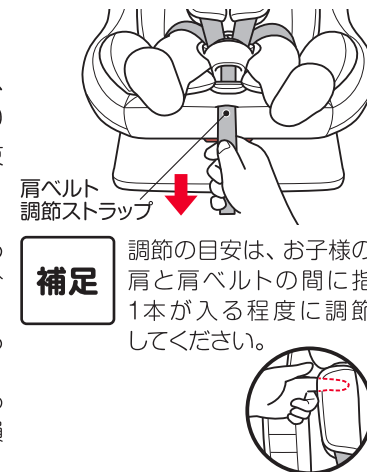
腰ベルトに緩みのないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。

注意

肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



お子様の降ろし方

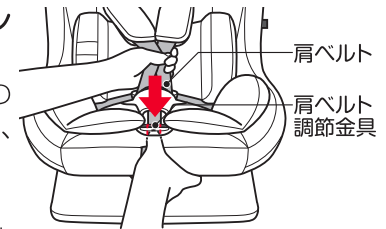
●肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

お手入れのしかた

取り外し方

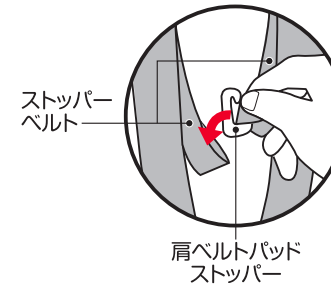
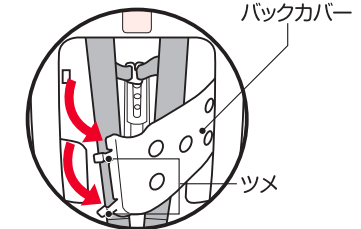
●肩ベルトパッド・インナークッションを取り外す

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持ち、手前に引いて肩ベルトを緩めます。



本体裏側にあるバックカバーのツメ(2カ所)を外して、バックカバーを開きます。

肩ベルトパッドストッパーからストッパーベルトを外し、本体表側に引き出します。バックカバーを閉めます。



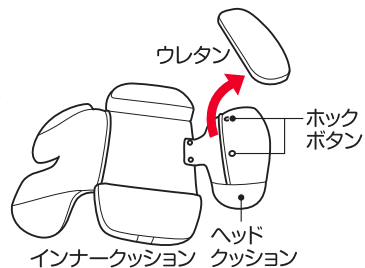
肩ベルトパッドのホックボタンを外し、肩ベルトから取り外します。



お手入れのしかた

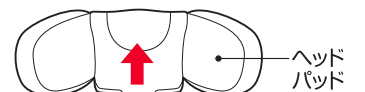
取り外し方

タングをバックルから解除し、ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。ホックボタンを外して、ウレタンを取り出します。



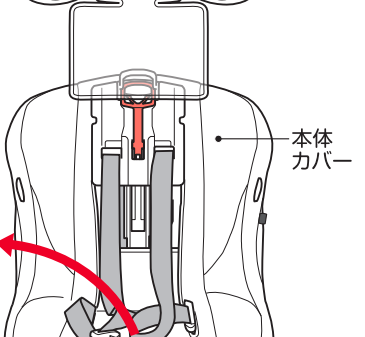
●ヘッドパッド・本体カバーを取り外す

ヘッドパッドを上へ引き上げ、本体から取り外します。

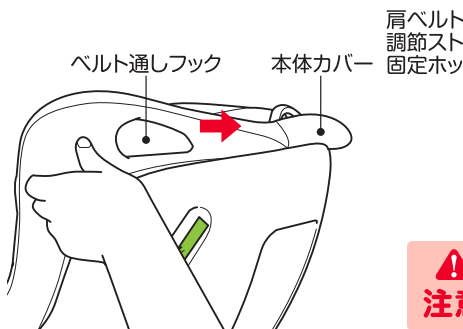


肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを外し、バックルパッドをバックルから引き抜きます。

本体カバーを座面側から外し、バックルと肩ベルト調節ストラップを本体カバーから引き抜きます。



ベルト通しフックから本体カバーを引き抜き、取り外します。

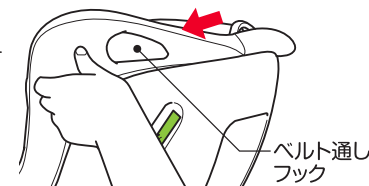


バックル・タング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

取り付け方

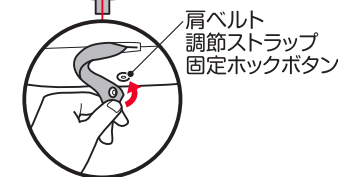
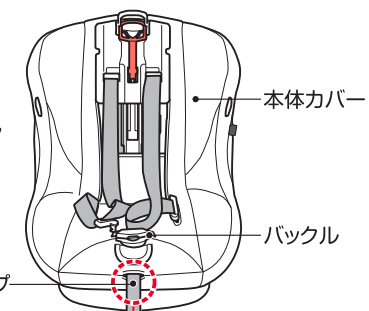
●本体カバーを取り付ける

本体カバーを、ベルト通しフックに通してから取り付けていきます。



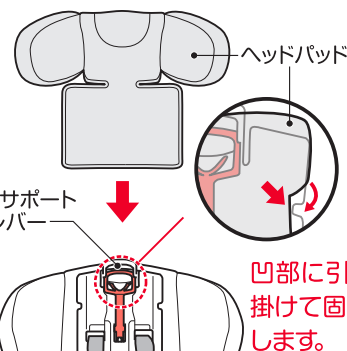
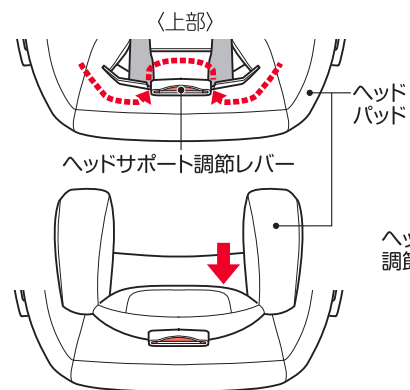
バックルと肩ベルト調節ストラップを、本体カバーの穴から引き出します。

引き出した肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンで固定します。



●ヘッドパッドを取り付ける

ヘッドパッドを、下図のようにヘッドサポート調節レバーが隠れないように交互に通します。



お手入れのしかた

取り付け方

●肩ベルトパッド・インナークッションを取り付ける

本体裏側にあるバックカバーのツメ (2カ所) を外して、バックカバーを開きます。

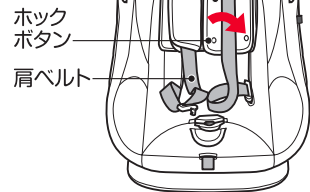
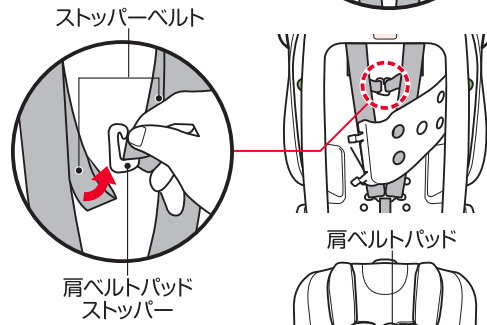
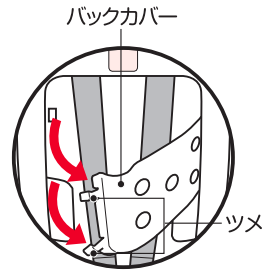
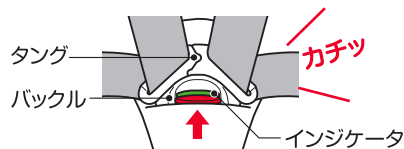
左右のストッパーベルトを肩ベルトの下側から背面に通し、肩ベルトパッドストッパーに取り付けます。
バックカバーを閉めます。

左右の肩ベルトに、肩ベルトパッドのフックボタンが付いている方を外側にして取り付けます。

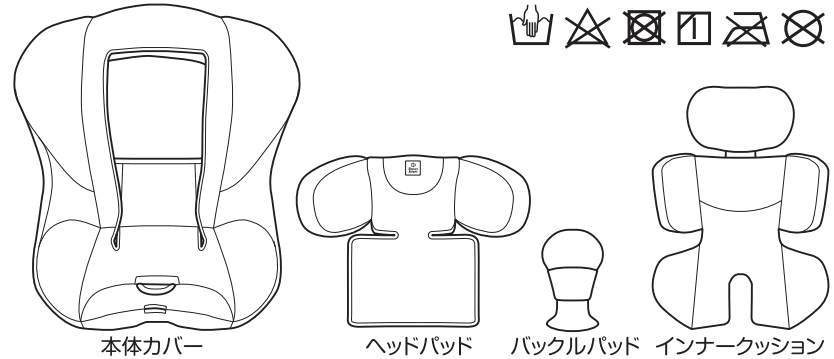
インナークッションを取り付けます。
バックルにバックルパッドを通します。
※バックルパッドの下部は、本体カバーの中に押し込んでください。

左右のタングを合わせ、バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。

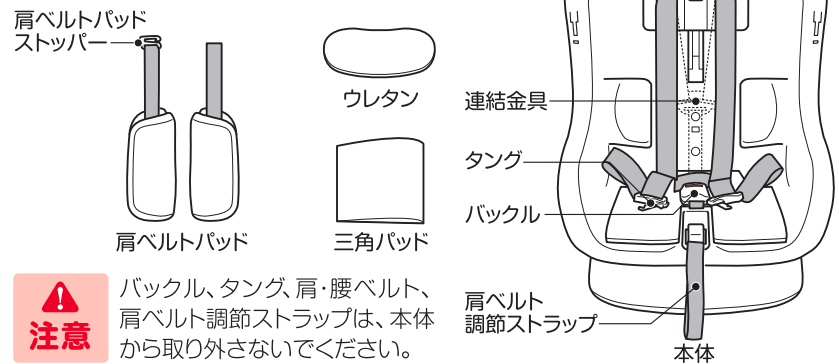
※インジケータが緑色になったことを確認してください。



- 中性洗剤を使い手洗いしてください。
- 洗濯機 (手洗いモード) で洗う場合は、必ず洗濯ネットを使用してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。



- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 肩ベルトパッドストッパー、バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意

バックル、タング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。

困ったときは

ご不明な点は、「お客様相談窓口(0120-034-017)」までお問い合わせください。

チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

- 座面を前後に軽く揺すり、本装置の座面と車両のシートから3cm以上ズレないかを確認してください。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こすことで、しっかり固定できる場合があります。また、座席がスライドできる場合は、前側にスライドさせることで、しっかり固定できる場合があります。

ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから高さの調節をしてください。

シートベルトで取り付けたが、緩みやたるみがとれない。

- 本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間を少なくし、腰ベルト、肩ベルトの順に巻き戻して緩みやたるみを取ってください。

バックルにタンクが入らない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタンクが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタンクを数回抜き差ししてください。

肩ベルトがねじれて、タンクが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタンクを通してください。

運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできるのより安全です。

廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
- ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。 ● ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。 ● 有償修理時に要する発送料。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。 ● 部品の紛失。
 - 保証書およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
- ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねる場合があります。

※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。

※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	SAレジェプラスネクスト	お買い上げ年月日	年	月	日	故障内容記入欄
	キャンピー	保証期間	お買い上げ日より1年間			
お客様	お名前	TEL				
	ご住所					
販売店	店名	TEL				
	住所					

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。